



## 無形民俗文化財を見に行きませんか

問 郷土博物館 ☎ 23-6859

市内には都や市の指定の無形民俗文化財が各地に所在します。歴史と伝統を守り現在まで伝承されている無形民俗文化財を、この機会にご覧ください。

### ◎青梅のフセギのワラジ（都指定・谷野地区） ・ワラジ作り

日時 7月20日（日）  
午前10時30分～午後0時30分

会場 谷野自治会館  
・ワラジ飾り付け（辻立て）

日時 8月3日（日） 午前9時30分～10時  
会場 十王堂、塩船との境、大門との境、今寺との境、小曾木との境に各1か所、木野下との境に2か所の計7か所にひとつずつ吊るします。



### ◎青梅のフセギのワラジ（都指定・岩蔵地区） 日時 7月27日（日）

午後1時～3時

会場 岩蔵御嶽神社神楽殿  
※ワラジ編み終了後、小布市との境、富岡との境に各2か所、古武士との境、成木の中里との境に各1か所の計6か所にひとつずつ吊るします。



### ◎沢井の獅子舞（都指定）

日時 7月27日（日）  
・宮参り巡行 午前8時に沢井八雲神社を出発  
・獅子舞 ①午前9時30分～11時  
②午後1時30分～4時30分

会場 沢井八雲神社



### ◎武蔵御嶽神社太々神楽（都指定）

日時 7月27日（日）  
午後8時から（夜神楽）

会場 武蔵御嶽神社神楽殿  
※詳細は武蔵御嶽神社 ☎ 78-8500へご連絡ください。



## 青梅市吉川英治記念館×文豪とアルケミスト PART V

### 第1弾～暑い夏は怪談ばなしで涼を～

問 青梅市吉川英治記念館 ☎ 74-9477

国民文学作家として活躍した吉川英治の作品は、現在も漫画やゲームに影響を与えるなど、新たなファンを獲得し続けています。さらなるファン層の開拓に向け、DMM GAME Sより配信中のゲーム「文豪とアルケミスト」とのタイアップ展（7月19日～3月29日）を5年目の今年も開催し、吉川英治、小泉八雲および江戸川乱歩のキャラクターの等身大パネルの設置や「文豪とアルケミスト」のオリジナルグッズを販売します。

第1弾は、「特製うちわ（紙製）」を来館者にプレゼントします。

日時 7月19日（土）～9月30日（火） 午前10時～午後5時（入館は4時30分まで）

会場 青梅市吉川英治記念館展示室

※休館日は毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日が休館）

観覧料 大人500（400）円、小・中学生200（150）円

※カッコ内は20人以上の団体料金▷年間パスポートも販売▷障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方1人は無料（障害者手帳を提示）▷市内の小・中学生は土・日曜日、祝日は無料

その他 記念館へお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。



## 青梅市の文化財探訪2 「国宝 円文螺鈿鏡鞍 一具」

市文化財保護指導員 御手洗望

ウマ（馬）は元々日本列島に生息しておらず、古墳時代に大陸から持ち込まれ、当時の馬具の発掘から、はじめから乗馬に利用されていたと考えられています。乗馬のため馬に装着する道具（馬具）は、轡（馬の口に噛ませ手綱と繋ぐ金具）、鞍（馬の背に載せ騎手が跨る）、鐙（鞍の両脇に吊るし騎手が足を掛ける）、鞆（馬の頭・胸・臀に架けて馬具を固定する紐：面繫・胸繫・尻繫の総称）などで構成されます。平安末期から鎌倉時代になり武士の馬の利用が進み、新しく工夫された馬具がつくられました。



武蔵御嶽神社発行「御神宝 武蔵御嶽神社宝物集」より

武蔵御嶽神社に伝わる円文螺鈿鏡鞍は、そうした鎌倉時代の馬具の様式を備えた宝物です。鞍は黒漆の地に円文（蛇の目紋）の螺鈿が施されています。螺鈿は、夜光貝など貝殻片内側の真珠層の光沢を利用した装飾で虹色に輝きます。また、鞍は金色の金覆輪に縁どられ装飾されており、「金覆輪円文螺鈿鏡鞍」という名前でも知られています。鐙は騎射で体を安定させるための古長鐙、轡には飾り金具の杏葉が付いています。こうした木製・金属製の馬具に加え、繊維でできた鞆等もそろっています。

鎌倉時代の馬具が一式揃う国内唯一の例であり、また、工芸品としての価値が評価され、一連の馬具と共に円文螺鈿鏡鞍は大正7（1918）年に国宝に指定されました。現在、武蔵御嶽神社の宝物殿で公開しています。

問 郷土博物館 ☎ 23-6859